

西大芦漁協管内でアユの潜水目視調査を実施しました！

2023. 6. 14 水産試験場

6月12日に、早期小型種苗放流（4/20に平均4.6gの種苗を12万尾放流）を実施している西大芦漁協管内でアユの歩留りを調査しました。

潜水目視によって調査（※¹）したところ、アユの生息数は約9万尾と推定され、放流量に対する歩留りは73%と十分に高い値でした。

早期小型種苗放流では、歩留りの低下が心配されますが、少なくとも同漁協管内では、5g未滿の小型種苗を早期に放流しても、解禁までの歩留りがこれまでよりも低下するといったことはありませんでした。

※¹調査方法の詳細はこちら（<https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010910859>）

表1 西大芦漁協での放流アユの歩留り

年	放流量 (万尾)	解禁直前の 生息数(尾)	歩留まり（生 息数/放流量）
2015	15	150,000	100%
2016	13	118,000	91%
2017	13	124,700	96%
2018	13	143,300	100%
2019	13	81,000	62%
2020	13	100,700	77%
2021	10	74,300	74%
2022	10	70,200	70%
2023	12	87,600	73%



図1 調査のようす